

書窓

Shoso

No.444

2022.5

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鰯

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

子どもの本だな 102

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

いっすんぼうし

いしい ももこ ぶん あきの ふく え (福音館書店)

親指ほどの背丈のいっすんぼうしは、都へ出る決心をしました。お椀を笠に、箸を杖に、針の刀をさして、どんどん歩いていきました。川に出るとお椀を浮かべ、箸をかいにして川上へ漕ぎ上りました。都では、大臣のお屋敷でお姫さまに気に入られ、手習いやすごろくの手伝いをしてまめまめしく働きました。

ある日、姫のお供で清水寺へ出かけた帰り道、3びきの鬼が姫をさらおうとしました。いっすんぼうしは、「いっすんぼうし、ここにあり！」と叫び、針の刀で鬼たちを「ちくり！ざくり！」。逃げ出した鬼たちが投げ捨てていったうちでのこづちを振ると、いっすんぼうしはずんずんと背が伸び、立派な若者になりました。

有名な日本の昔話ですが、丁寧でリズム感のある文章が、いっすんぼうしの明るく清々しい姿をひきたてています。多彩で柔らかい色づかいの絵も、お話のイメージにぴったりです。

読んでもらえば3～4歳から。(池田)

床下の小人たち

メアリー・ノートン 作 林 容吉 訳 (岩波書店)

イギリスの古い屋敷の床下に、借り暮らしの小人が住んでいました。ポッドとホミリー、アリエッティ親子です。3人は、生活に必要なものをすべて、屋敷の人間から借りていました。

ある日、アリエッティは父親について初めて床下から出ました。陽の光、風にそよぐ草、さくら草。外の世界に夢中になっていたアリエッティは、男の子を見つけました。アリエッティと仲良くなった男の子は野原に住む親戚に手紙を配達してくれたり、毎晩、床板をあけては人形の家の家具を運んでくれたりしました。ところが、屋敷の女中が戸棚の飾り物がなくなっていくのに気づきました…。

小人たちはマッチ箱をたんすに、古い手紙を壁紙にと、小さなものを工夫して使います。小人たちを床下から燻し出そうとする大人と、小人の逃げ道をつくろうとする男の子。小人たちが追いつめられる様子が緊張が高まります。無事に逃げ出した一家の生活が続編『野に出た小人たち』に描かれます。10歳くらいから楽しめます。(竹内)

5月	6月	5・6月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
12日	9日	塚森 地域内 10:30～ 10:50	沖代 地域内 11:00～ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30～ 14:50	米田 公会堂 15:00～ 15:20	竹広南 公民館 15:30～ 15:50
19日	16日			原池団地 公民館 15:00～ 15:20	山田 掲示板前 15:30～ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00～16:20
26日	23日	広坂 公民館 10:30～ 10:50	上太田 公民館 11:00～ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30～ 15:50	吉福 公民館 16:00～ 16:20

<お知らせ>

毎週土曜日に

「おはなしの時間」

を開いています。

- ・4歳～小学2年生
11:00～11:30
- ・小学3年生～中学3年生
11:30～12:00

5月のおはなしは、「ラプンツェル」「こすずめのぼうけん」「食わず女房」などを予定しています。詳しくは、図書館ホームページ、または館内プログラムをご覧ください。

『思い出のスケッチブック 『クマのプーさん』挿絵画家が描くヴィクトリア朝ロンドン』 E・H・シェパード 著

永島 憲江 訳 国書刊行会 253 頁 2020 年 11 月刊 2,600 円 (請求記号)726.5

『クマのプーさん・プー横丁にたった家』『たのしい川べ』の挿絵画家シェパードが、自身の7歳から8歳の子どもの時代を豊富な挿絵を加えてつづった自伝エッセイ。

2つ違いの兄シリルとはいっても一緒に遊んでいた。幼い頃は2人で1つのベビーカーに乗せられ、いつもけんかばかり。大きくなると粘土細工やおもちゃの兵隊ごっこ、パラシュートの飛ばしっこと遊びは尽きない。そして、7歳の誕生日に思いがけないプレゼントが届く。3つの木製車輪を持った2本の前足で空をかいている木馬だ。セプチイマスと名付け、まるで本物の仔馬のようにまたがって通りを行ったり来たり。通りの先へは行つてはいけないことになつてはいたが、ことあるごとにその決まりを破り、歩道を全速力でペダルをこぎ、辻馬車と競争した。辻馬車の御者は、賭け事好きであればあるほど、この競争にのつてくれたが、ある日、年配の乗客が、危険運転で出頭命令を出すぞと御者を脅し、さらにシェパードにきつい一言を投げつけた。またある時のこと、建築家の父が「招待展示内覧会」に連れて行つてくれた。大勢の人がいて絵を見ることができず、シリルと部屋の奥に飾つてある二領の甲冑の方へどうにか進んでいき、紐を外しどのように組み合わさつていのか解明しようとするうちに、甲冑が大きな音を立てて崩れ両親を慌てさせた。

7歳の子どもの感じる日常が、どんなに驚きや新鮮さに満ちていて、どんな時に幸福を感じるかを、リズムカルでゆかいな筆致でつづっている。「私たちは、子ども時代に人生の重みをひきずらないで生き、またそこで私たちの人となりや形づくられてゆくばかりでなく、人生の幸福の最もよい分け前をまず受け取るもの…」というポール・アザールの言葉を真に味わう物語だった。

(西村)

5月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		



- ▶ ×印は休館日
- 5/2、5/6、5/9 は祝日の振替
- 5/30、6/30 は館内整理日
- ※閉館時は返却ポストへ返却してください。
- ▶開館時間は 10:00～18:00
- 金曜日は 20:00 まで開館

地下水

図書館では4月1日から折紙の展示コーナーを設置し、5月8日には親子で折紙を楽しむ催しが行われる。折紙に関する企画を実施するにあたり、折紙について調べていたところ、興味深い記事を目にした。近年、折紙の技術を用いた3Dプリンターが開発されているという。折紙式3Dプリンターは、平板状の素材を折紙の要領で組み立てるといふものであり、樹脂などを溶かして設計図通りに積み上げていく従来の積層型3Dプリンターと異なり、素材を選ばず、3Dプリンターよりも大きいサイズの立体物を作ることができる。また、必要に応じてサイズを変化させる展開縮小の性質を持ったメタマテリアル(自然界に存在しない性質を持った物質)を簡単に作ることができるという。このメタマテリアルは、宇宙機の太陽電池などに用いられている。

日本の伝統文化である折紙が、最新技術への着想に繋がっていることを考えると、あらゆる分野へ興味を持ち、関心を向けることの意義がよくわかる。普段読まない本に手を伸ばすことで、思わぬ成果につながるかもしれない。

(光藤)